

令和 8 年度シラバス（理科）

学番 2 9 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	理科（地学基礎）	単位数	2 単位	学年	2 年次（選択必修）
使用教科書	啓林館 高等学校 地学基礎				
副教材等	啓林館 地学基礎の基本マスター 新訂版				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒の育成を目指します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④社会の発展に貢献しようとする大きな志を持って、主体的に地域の生活を創造できる能力を持つ生徒を育成します。 ⑤自己を管理する力を持ち、他者への思いやりや、協働ができ、市民としての社会的責任を自覚する勤勉な態度の生徒を育成します。
カリキュラムポリシー	①地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立とうとする意識を育成します。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③各系列での基礎学力の向上を目指し、卒業までに高い専門性を身に付けさせます。 ④各学年における探究的な学習活動や体験学習、教科横断的な学習により、深い学びを実践していきます。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

2. 学習目標

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
--

3. 指導の重点

総合学科であることから
① 地学や自然現象に対する興味・関心を高める。
② 地学や自然現象に対する正しい知識、法則を理解させる。
③ 地学や自然現象に対して、自ら判断し考える力、探究心を深める。

4. 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につけている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現している。	地球や地球を取り巻く環境に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度が養われている。 自然環境の保全に寄与しようとする態度が養われている。

5. 評価方法

評価は次の3観点から行います。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・授業時の取り組み状況 ・実験の取り組み状況 ・提出されたレポートや課題 ・定期考査 ・小テスト などから総合的に評価します。	・授業時の取り組み状況 ・実験の取り組み状況 ・提出されたレポートや課題、特に説明能力や言語化などの達成状況 ・定期考査 ・小テスト などから総合的に評価します。	・授業時の取り組み状況 ・実験の取り組み状況 ・提出されたレポートや課題、特に提出期限が守れるかや提出物の完成度 ・定期考査 ・小テスト などから総合的に評価します。

6. 指導計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	第1部 固体地球とその変動	第1章 地球	固体地球の表面	3h	授業への取り組み、提出物、関心・意欲・態度、小テスト・定期テストなどから総合的に評価する。
			地球の形と大きさ		
			地球の内部構造		
		第2章 活動する地球	プレートテクトニクス	6h	
			プレート境界と大地形		
			プレートと地球の内部		
			第一回考査	1h	
5			褶曲と断層	9h	授業への取り組み、提出物、関心・意欲・態度、小テスト・定期テストなどから総合的に評価する。
		変成岩とその形成			
		地震の分布と断層			
		震度とマグニチュード			
		震源の決定			
		火山活動と地形			
6			火山の分布		
			火成岩の産状と組織		
	第1章 大気の構造	大気の組成と気圧	4h		
大気の層構造					
第二回考査		1h			
第2部 大気と海洋		水の循環	3h	授業への取り組み、提出物、関心・意欲・態度、小テスト・定期テストなどから総合的に評価する。	
		湿度と雲のでき方			
	第2章 太陽放射と大気・海水の運動	太陽放射エネルギー	10h		
		地球のエネルギー収支			
		地球の熱輸送			
大気の大循環					
海水の組成と層構造					
海水の循環					
エルニーニョ					
第三回考査		1h			
	第3章 日本の天気	冬から春の気象	4h		授業への取り組み、提出物、関心・意欲・態度、小テスト・定期テストなどから総合的に評価する。
		夏から秋の気象			
第3部 移り変わる地球		第1章 地球の誕生	宇宙の誕生	8h	
	太陽系の誕生				
	惑星の特徴				
	第2章 地球と生命の進化	先カンブリア時代	3h		

1 2			第四回考査	1h	授業への取り組み、提出物、関心・意欲・態度、小テスト 定期テスト などから総合的に評価する。
			顕生代	4h	
1	第 3 章地球史の読み方	地層	6h		
		地層の形成			
		堆積岩とその分類			
		地層の読み方			
2	第 4 部 自然との共生	化石と地層の対比	5h		
		地球環境と人類			
		地震災害・火山災害			
		気象災害			
		災害社会			
3		人間生活と地球環境の変化	1h		
		第五回考査			

計 70 時間(50 分授業)

7. 課題提出物等

- ・観察や実験にはレポートの提出を求める。
- ・単元によっては小テストを実施する。

8. 担当者からの一言

地学は身近な自然を取り扱う学問です。特に自然災害の多い日本という国に住む以上、今後の生活の中で防災以上に減災やリスクヘッジの意識を持つための知識が必要です。メディアなどの情報を的確に捉え、自ら考え、判断できる力を身につけて欲しいと願います。

また、生命の歴史や宇宙の歴史など、扱う時間・空間のスケールが非常に大きいことも地学の特徴です。現在の我々に至るまで生命や宇宙はどのような歴史を辿ってきたのか、あるいはこの先、どうなっていくのか。その壮大な世界観を楽しめるような授業にしていきたいと思えます。